

## 調べるーネット縦横無尽

林 宰司

一昔前なら、何か分からないことを調べるには百科事典やその他の用語辞典を引かなければならなかった。今ではパソコンとインターネットに接続できる環境さえあれば、ほとんど何でも調べることができる。インターネットの普及によって、百科事典で有名なある出版社の経営が傾いたという話も聞く。しかし、ネットの世界には、何らかの機関や組織が公益のために発信した有用な情報から、単なる自己満足のために発信された他愛もない情報まで様々なものがある。その中から有用な情報を得るためには、いかに見つけだし、選別するかという能力を自分で身につけるしかない。

とりわけ学生の皆さんにとっては、講義内容の補足のための調べものや、レポート、卒業論文作成のための情報収集が重要であろう。以下、無料で利用できるものに限って紹介したい。

### 本を探す

本学図書館の蔵書については、図書館内だけでなくインターネットからも検索が可能である。目的の図書がない場合は、日本全国の大学図書館の

所蔵データベースNACSIS Webcatを探してみよう。必要な図書が見つかったら、本学図書館カウンターで他大学から図書を借りたり、目的のページがわかっていればコピーを取り寄せたりといったレファレンスサービスを受けることができる（ただし、郵送料やコピー代など実費負担）。国会図書館の書誌検索も是非活用して欲しい。国会図書

館には世に出回っている書籍を必ず一冊収めることになっているので、あらゆる書籍が登録されている（はずである）。また、新刊などは民間のamazon.co.jpやその他の書店のデータベースで検索することもできる。購入する場合は、そのまま注文できるのでこの点も便利である。

### 雑誌記事を探す

雑誌の中に収録されている記事や論文を検索するには、国立国会図書館の雑誌記事索引検索が便利である。ここで目的の雑誌記事を探したら、それが収録されている雑誌を図書館で探せばよい。図書館にない場合は、収録雑誌名、収録ページ番号の情報からレファレンスサービスを利用してコピーを取り寄せればよい。

### ウェブサイトを探す

欲しい情報が掲載されているWeb Siteを探すには、GoogleやYahoo!などのサーチエンジンを使う。サーチエンジンは大きく分けてロボット型（サーバが自動的に巡回してネット上の情報を収集、Googleなど）とディレクトリ型（人間がディレクトリに登録、Yahoo!など）の2種類のタイプがある。ロボット型の方が収録データは多いが、キーワードに引っかかったものが全て表示され、未整理であるので目的の有用なサイトにたどり着くのが難しいかもしれない。逆にディレクトリ型は、分類されているので目的のサイトは見

つけやすいかもしれないが、収録サイト数が少ないかもしれない。目的に応じて使い分けるのが賢明だろう。また、検索するキーワードを工夫したり、絞り込み検索を利用するとよい。フレーズ検索も活用しよう。「environmental economics」で検索すれば、「environmental economics」の2語を含むページが引かれるが、「environmental economics」とダブルクォーテーション「」を挟んで検索すると、「environmental economics」というフレーズを含むサイトが表示される。



TADASHI HAYASHI

経済学部講師。  
1973年生まれ。1997年慶応義塾大学経済学部卒、2002年京都大学大学院経済学研究科博士課程学修認定退学。専門分野は環境経済学、環境政策論。貿易や直接投資による環境問題への影響について研究している。  
<http://www1.tcue.ac.jp/home1/hayashi/>

高崎経済大学図書館OPAC

<http://www2.tcue.ac.jp/limedia/>

国立国会図書館NDL-OPAC

<http://opac.ndl.go.jp/>

NACSIS Webcat

<http://webcat.nii.ac.jp/>

Nouiel RoubiniのGlobal Macroeconomic and Financial Policy Site

<http://www.stern.nyu.edu/globalmacro/>

## 経済統計データを探す

経済統計データの収集は、政府の各省庁や日本銀行のリンク集から国際機関へのWeb Siteへ飛ぶのが効率的である。また、[www.yahoo.com](http://www.yahoo.com)のBusiness & Economyのディレクトリを開くと、さらにFinance and InvestmentやTradeなどいくつかの分野に分類されている。入手したい情報の分野を選択し、絞り込んでいくと目的の情報にたどり着ける。

また、ニューヨーク大学のNouiel Roubini助教授は、国際経済・金融に関するデータを体系的に整理した「Global Macroeconomic and Financial Policy Site」を開設している。それぞれ分類された項目の分野に関する論文や報告書、統計資料などへのアクセスができるようになっている。

以上、いくつか代表的なものを紹介したが、その他にもたくさん有用なものがある。使える物はブラウザのお気に入り登録して、自分専用の道工具箱を作っておこう。林の個人ページにもリンク集を作っておくので活用してほしい。

